

「石巻市震災復興基本計画 市民からの104の提案」

石巻復興支援ネットワーク

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの住む石巻市に大きな被害をもたらしました。しかし、多くの市民やボランティアの活動によって勇気づけられ、市民が主体となって震災の前よりも住みよい街をつくらなければと考えはじめています。

このたびの石巻市震災復興基本計画策定に際し、出来るだけ広い市民の声を集めたいと、子どもからおとなまで幅広い年代の方々に集まっていただき2回にわたる意見交換会の場を持ちました。出た声については出来るだけ手を加えずに104の提案として、そのままお届けすることにいたしました。震災復興基本計画はもちろん、今後の具体的な施策の実施にあたり、その節目においてご提出いたしましたひとつひとつの声（提案）にたちもどって、検討・検証していただければ幸いです。

石巻復興支援ネットワーク
代表 兼子佳恵

提 案

- 提案 1. 景色・自然・食べ物など、石巻の誇りを再確認・共有して、広く伝えよう。
- 提案 2. 日和山、北上川、太平洋など石巻市の自慢のものを誇ろう。
- 提案 3. 石巻の誇りを再確認・共有するために、写真や絵画、作文などの分野で「誇れる石巻コンクール」を実施しよう。
- 提案 4. 石巻人の気質の良いところを伸ばし、悪いところを直して、皆で復興に取り組もう。
- 提案 5. 石巻の子どもは、「未来の大人」と確認し、その意見や役割を積極的に評価しよう。
- 提案 6. 石巻の地元の人が頑張れるように、互いに声掛けし合い、応援し合おう。
- 提案 7. 市民が市政を批判するのではなく、ともに提案できる社会をつくろう。
- 提案 8. 市民が自分でできることを考え、行動に移し、市民主体のまちづくりを行おう。
- 提案 9. ボランティアを生かし、行政とも情報共有しながら、事業がテンポよく進む、リズム感のある復興を実現しよう。
- 提案 10. 石巻市民が、自分の住むまちを誇りに思え、地域の良さを大人になっても忘れないまちづくりを行おう。
- 提案 11. 震災前の夢や希望が再び持てるまちづくりを行おう。
- 提案 12. みんなが石巻を大好きになるまちづくりを進めよう。
- 提案 13. 笑顔を忘れず、笑顔が見られる、明るい地域づくりを進めよう。
- 提案 14. 石巻市に住みたいと思う人が増えるまちづくりを進めよう。
- 提案 15. 石巻の自然・歴史・文化を大切にしたいまちづくりを行おう。
- 提案 16. 資料館、名物おじさんなどから石巻市の歴史を学ぶ機会をつくろう。
- 提案 17. 震災復興に関わる様々なアイデア・情報が集まり、共有できる情報センターを、小さくても、他施設と共有でもよいので、早くつくろう。
- 提案 18. 漁協や仮設コミュニティーなどの困っているところと、NPO、ボランティアなど応援したい人をマッチングする場や仕組みをつくろう。

- 提案 19. SNSなどを用いて、困っているところと応援したい人をマッチングする場をつくろう。
- 提案 20. 石巻市の復興状況が共有できる、復興情報誌を定期的に発行しよう。
- 提案 21. 復興の基本として、石巻市民憲章をもう一度読み直そう。
- 提案 22. 「全てのボランティアを招待した川開き」を復興の節目とし、その実現に向けてまちづくりを進めよう。
- 提案 23. 石巻市の決裁権を簡略化し、手続き・行動しやすい体制をつくろう。
- 提案 24. 役所の縦割りの行政システムを見直そう。
- 提案 25. 復興まちづくりに関わるヒト、モノ、カネ、制度を調整し、迅速に対応できるコーディネート課を創設しよう。
- 提案 26. 全国から集まったボランティアが、行きたいところに行けるためのコーディネーターやサポート体制を整えよう。
- 提案 27. 石巻市役所のOB職員を積極的に活用しよう。
- 提案 28. 地域の人と行政、NPO、ボランティアなどが相互に関係をつくることのできるような条例を作ろう。
- 提案 29. 地域リーダーを育成する仕組みをつくろう。
- 提案 30. 自分たちで考えて、できることは行動に移せる石巻市をつくろう。
- 提案 31. ボランティアがやってきたことを地域主体で実行できるように移していこう。
- 提案 32. 町内会のネットワーク・協力体制を構築し、泥かきなど自分たちでやっていこう。
- 提案 33. 溝掃除ではなく「溝祭り」、炊出ではなく「縁日的炊出」などのように、各復興活動を地域一体で取り組めるイベントとして実施しよう。
- 提案 34. たくさんの方が交流できるまちづくりを行おう。
- 提案 35. 全世代の方々が交流できる場があるまちづくりを行おう。
- 提案 36. 老若男女が交流できるイベント、機会を増やし、各世代、同年代のネットワークを構築しよう。
- 提案 37. 高齢者と若者が仲良く、助け合い、暮らせる地域・まちづくりを考えていこう。
- 提案 38. 農業、食事、娯楽、遊び、勉強など、テーマに沿った私設のコミュニティスペースを設け、コミュニケーションの場を創出しよう。
- 提案 39. 仮設住宅で新しいコミュニティができるような支援を行おう。
- 提案 40. 石巻市民がいつでもみんなで共有できる居場所を作ろう。
- 提案 41. 地域の人が自然と集まり、会議を開き、色々な連携が生まれるような居場所、仕組みを作ろう。
- 提案 42. 市民と行政が協働できる拠点を小学校区毎に整備しよう。

- 提案 4 3. 子どもがたくさん生まれて、健やかに育てられる環境を作ろう。
- 提案 4 4. 子育て広場、保育、子どもたちの居場所となる場所があるまちづくりを目指そう。
- 提案 4 5. 子どもたちと一緒に復興へ向け活動していこう。
- 提案 4 6. 学生が運営する、学生の学生による学生の為の交流の場を創出しよう。
- 提案 4 7. 高齢者を生かしたまちづくりを行おう。
- 提案 4 8. 高齢者の方々に目を向けられるまちづくりを行おう。
- 提案 4 9. 漁業と観光で人を呼べるまちづくりを行おう。
- 提案 5 0. サンファン館、石ノ森漫画館を早期に復活させよう。
- 提案 5 1. 復興への過程を見ることそのものを対象とした観光事業を行おう。
- 提案 5 2. 漁業を市民で応援し、それを中心にした働く場所づくりを行おう。
- 提案 5 3. 工業港、漁港の岸壁を早期に復活させよう。
- 提案 5 4. 理念の「産業・経済の再生」に生活を追加し、「生活・産業・経済の再生」に変更しよう。
- 提案 5 5. 生鮮マーケットを早期に作ろう。
- 提案 5 6. 簡易市場を早期に開設しよう。
- 提案 5 7. 病院・文化センターを早期に復興しよう。
- 提案 5 8. 頑張っていて立て直しを凶っている商店主、漁業従事者や農業従事者で困っている方々への継続的な経済支援の仕組みをつくろう。
- 提案 5 9. 船と漁網の支援を全国から募ろう。
- 提案 6 0. 商店街への支援を行おう。
- 提案 6 1. 若者が働き、住み、遊べるまちづくりを行おう。
- 提案 6 2. 若者の集い場を作ろう。
- 提案 6 3. 子ども、若者が、一度石巻市から出たとしても、戻ってきたくなるまちづくりを行おう。
- 提案 6 4. 遊べる場所がたくさんある楽しい街を作りあげよう。
- 提案 6 5. 津波から生き延びた洋服、がれきで作られた御神輿、救い出された缶詰など、被災を逆手に取った「津波ブランド」を創設しよう。
- 提案 6 6. 震災復興基本計画の考え方の中に「環境の保全と創造」を加えよう。
- 提案 6 7. 地域で働く名物おじさんとの交流など、子どもたちが憧れる仕事姿を見せられるような機会をつくろう。
- 提案 6 8. 安全・安心に生活できる場所をもっともっと増やそう。
- 提案 6 9. 行政と市民が協力し、市民の防災意識をもっと高め、自主防災の組織づくりを行おう。
- 提案 7 0. 避難所での生活まで含んだ防災計画を策定しよう。

- 提案 7 1. 今回の災害の教訓を、市民レベルで後世に語り継いでいこう。
- 提案 7 2. 防災（減災）教育を強化しよう。
- 提案 7 3. 小中高を通じ、教育の現場で防災やボランティアに携わる機会を今よりも増やそう。
- 提案 7 4. 災害時に、先生の不足を補う仕組みを作ろう。
- 提案 7 5. 市立高校に防災科をつくろう。
- 提案 7 6. あらゆる公共施設が防災拠点になるまちづくりを行おう。
- 提案 7 7. 災害時などに大人数が収容可能な避難所にもなる施設を作ろう。
- 提案 7 8. 学校が防災の拠点になる計画を策定しよう。
- 提案 7 9. 道・鉄道の復活、強化を早期に行おう。
- 提案 8 0. 道路を整備し、他所からのアクセスを良くしよう。
- 提案 8 1. がれきを利用した島を設けるなど、堤防だけでない津波対策を検討し、実施しよう。
- 提案 8 2. 岸壁を高くするなど、海側の津波対策を強化しよう。
- 提案 8 3. 医療が充実するまちづくりを行おう。
- 提案 8 4. 次世代エネルギー導入都市宣言を行い、全戸にソーラーパネルを設置しよう。
- 提案 8 5. 学校・幼稚園など教育施設を早期に復旧させよう。
- 提案 8 6. 仮設住宅の建設場所を早期に確保し、快適な仮設住宅を建設しよう。
- 提案 8 7. 「がんばっぺ石巻」じゃなく「ふんばっぺ石巻」を目標に。ふんばるは今より悪くしないことです。
- 提案 8 8. 被災して生活が大変な人のことも考え、的確で、分かりやすく、他市町村より早い決断ができる自治体を求めます。
- 提案 8 9. 震災のがれき処理計画を早期に策定し、市民へ開示することを求めます。
- 提案 9 0. 市民の健康を診断する機会をもっと設けることを求めます。
- 提案 9 1. 教育施設、学習の場など、学生のことを配慮した施策を求めます。学習だけではなく、子どもたちが今したいことを考えてほしいです。
- 提案 9 2. 多くの公園は、仮設住宅になっており、子どもの遊ぶところがない。学習だけではない。子どものことをしっかり考えたまちづくりを行おう。
- 提案 9 3. 大人の人たちは震災復興に、もっと学生を頼っても良いと思います。
- 提案 9 4. 居住地の中心にボールで遊べる広い敷地の公園や遊具のあるまちが良いです。
- 提案 9 5. 地元が静まり返らない明るいまちが良いです。
- 提案 9 6. 学生時代の友達と、大人になっても楽しく遊べるまちが良いです。

- 提案 97. 近所付き合いが良く、チームワークのあるまちが良いです。
- 提案 98. 子どもと大人が協力し、お互いにとって快適な街を目指そう
- 提案 99. カッコよくておもしろいだんなさんと出会えるまちが良いです。
- 提案 100. 大型スーパーではなく、人と人の付き合いがあり、賑やかで、活気のある商店街が良いです。
- 提案 101. 地震前になかったことが、地震後にいっぱいあると良いと思います。
- 提案 102. 一人一人が町づくりに向かっていたら良いと思います。
- 提案 103. 今回の震災がいかされなかったら嫌です。
- 提案 104. 震災の経験を生かした活動がしたいです。

*赤字は、子どもたち（中高生）の意見です。

<石巻市震災復興基本計画へ提案！市民ワークショップ>

第一回：6月12日（日）@石巻グランドホテル

第二回：6月24日（金）@石巻復興支援ネットワーク事務所

■■参加者及び提案者：（順不同、敬称略）■■

石巻観光協会／後藤宗徳

街づくりまんぼう／西條允敏

石巻NPOセンター／木村正樹、木村美保子

石巻専修大学／イ・ドンフン

石巻市市民／永沼紀男

グランドホテル浦山

神戸復興塾／辻信一、野崎隆一、松原永季、東未真紀、田村太郎、三谷真、大津俊雄

シチズンシップ共育企画／川中大輔

日本ファシリテーション協会／遠藤智栄

石巻復興支援ネットワーク／兼子佳恵、萱場祐子、小松佳代子、渡辺順子

豊嶋和美、渡部慶太

オンザロード／新井章仁、堀之内哲也

被災者とNPOをつないで支える合同プロジェクト（つなプロ）／堀彩香、星野美佳、小野寺洋

個人ボランティア／田端、後藤悟、長田

中高生／高橋・渡辺・吉野、松川、阿部、兼子

神戸新聞：大月美佳、岡田育磨

日日新聞：熊谷

<市民ワークショップ写真>

